



Title	大阪府派遣保健所医師から見た被災地の公衆衛生体制の課題について
Author(s)	森脇, 俊
Citation	大阪公衆衛生. 2012, 83, p. 10-11
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83362
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪府派遣保健所医師から見た 被災地の公衆衛生体制の課題について

大阪府豊中保健所 所長 森脇 俊

今回の東日本大震災の発生を受け、大阪府は公衆衛生チームとして医師、保健師、栄養士、放射線技師その他応援職員計 231 名（府内市町村からの派遣職員を含む）を岩手県宮古保健所管内の山田町を中心とする地域へ派遣し、被災地自治体の支援および被災された住民の方々の健康管理や医療支援チームとの橋渡しなどの業務にあたった。

1. 活動内容

小生が派遣された時期はまだ震災発生から半月しか経っていない 3 月下旬であったため、現地はまだ混乱状態にあり、主要な道路は通行可能な状況であったが、それ以外はガレキの山で漁船が建物の屋上に乗り上げ、周囲一帯が全て焼け野原といった惨状であった。

我々が担当した避難所は、地区の高台にあって難を逃れ、避難所に指定されていたコミュニティセンター、小学校、幼稚園であった。避難所では自衛隊の支援も入り、支援物資も一定確保ができていたため、食べ物、飲み物に欠く、といったような状況ではなかった。一方で、避難者の多くは高齢者であり、大半の方が降圧剤等の治療を受けていたが今回の津波で流されてしまい、医療支援チームから薬の投与を受けていた方が多かった。

我々は血圧測定をきっかけとして、避難者の方の話を聞き、健康上の心配事やこころのケアが必要なかなどを判断し、必要に応じて医療支援チームへの紹介あるいは継続して経過を観察する必要があるかなどを個人ごとに作成した記録票にまとめた。また、コミュニティセンターに詰めていた町の保健師さんが、身近ケアを必要とする避難者の介助に忙殺されており、また

公用車が全て流されて、交通手段も無いことから役場との情報疎通が全くできていない状況にあったため、その支援等も行った。

2. 現地保健所の状況

地域の公衆衛生の拠点である宮古保健所も被災していて体制を議論する状況になく、また我々自身も派遣期間が 4 泊 5 日と非常に短期間であったことから、現地での活動は結局個別支援に終始してしまった感がある。

宮古保健所は各地から応援に入る公衆衛生チームの差配のほか、様々なチャンネルを通じて情報収集に努めており、何とか地域の公衆衛生体制を立て直そうと尽力されていた。また、医療支援チームや配置等をコントロールし、救急医療も含めた地域の医療機関の状況把握に努めてきたことは我々も大いに見習うべき点である。一方で保健所と市町村との連絡調整がうまく機能せず、住民に向き合う避難所等の現場は全体の流れをほとんど把握できず、目の前の被災者支援にただ忙殺される状況が続くといった事態も伺えた。

3. 派遣から得た教訓

三陸地域は常時津波の危険にさらされており、体制整備や訓練も実施しているが、それでも自然災害の前には大きな被害を出してしまった。同じく東南海地震発生が指摘されている我々も決して他人事ではなく、より一層の備えを進める必要がある。今回の経験を通じて特に感じたことは「いかに日頃から実際に役に立つ備えを進めるか」ということである。単に分厚いマニュアルを整備するだけでは全く役に立たない。職員誰もが「まず最初に何をすべきか」を即座に

理解できる簡単な内容のマニュアルを所全体で作成し、周知することが必要である。保健所がまずすべき事はいわゆる「災害弱者」への支援である。そのためにはライフラインの復旧状況、診療可能医療機関の把握、通行可能な道路に関する情報収集等が鍵を握る。そのためには市町村や医師会、消防、警察等の関係機関との連携が極めて重要となる。

しばしば「連携」という言葉を耳にするが、会

議を開いて連携ができる程簡単なものではない。危機管理とは関係の無い件であってもそれをきっかけにお互いに顔を知り合い、「困ったことがあればすぐに相談できる」くらいの関係づくりを進めることが「いざ!」という時に役に立つ。実際ここまで関係を深めることは難しい。私自身、まだまだそこまでできている訳ではないが、多くの場面で、より多くの関係者との関係づくりを積極的に広げていきたいと考えている。

脂肪を消費しやすくする

許可表示：本品は茶カテキンを豊富に含んでおり、エネルギーとして脂肪を消費しやすくするので、体脂肪が気になる方に適しています。

茶カテキン
540mg



ヘルシア 緑茶
すっきり



ヘルシア 緑茶



ヘルシア
ウォーター



ヘルシア
スパークリング

・健康づくりは過度な運動と食生活の改善から。・ダイエット食品ではありません。・飲んだあとはいずれも。

年に1回は人間ドックを受けましょう。

日本人間ドック健診協会
推薦[®]



■ 商品に関するお問い合わせは ☎ 0120-165-697 <http://www.kao.co.jp/healthia/>

